

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 8月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます
四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデー
タリストや静岡県版レッドデータブック
に記載されている貴重な植物が分布して
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自
然風景を保全し、身近な自然を観察できる
自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備
されました。 サ
ワトラノオやヒキノ
カサ、ノウルシなど
の貴重な植物、カワ
セミやアオサギな
どの野鳥たち、ハ
ラビロトンボやア
オモンイトトンボ
などの昆虫など、
様々な動植物との
出会いを楽しめる
自然公園です。



サワトラノオ

ヒメハッカの匂いをかいでみよう (令和6年は、あまり生育していません)

公園南側入口付近に、淡い紫色の花を咲か
せるヒメハッカが生育します。丸く小さい
葉をつけます。この葉をやさしく触って、
触った指をかいてみてください。さわやか
な香りがします。ハッカ属の学名 *Mentha*
が示すように、メントールの香りです。

ただ、ヒメハッカは、環境省レッドリス
トで準絶滅危惧、静岡県レッドデータブ
ックで絶滅危惧Ⅱ類の植物です。葉を採って
しまわないように気をつけてくださいね。



ヒメハッカ

Mentha japonica (Miq.) Makino

午後3時の花ミズオトギリ

小さなピンク色の花を咲かせるミズオトギリ。午後2時
45分ごろから開き始めるという不思議な花です。

暑い時間帯ですが、午後3時ごろに探してみてください。
管理棟の南側木道から、公園南側入口にかけて、たくさ
ん生育しています。(令和6年は、あまり生育していません)



トンボが多く見られます

園内では、木道沿いでハラビロトンボ、北側の丘の上でウスバキトンボ、北側のヤナギ
の木立ちの中でコシアキトンボ、管理棟前の水場でショウジョウトンボとシオカラトンボ、
コフキトンボ、ギンヤンマなどが見られます。

浮島ヶ原自然公園の Web サイト・ブログ・Facebook ページを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または



「@ukishimagahara」



「浮島ヶ原自然公園」

